

(様式第2号)

研究No. (記載不要)	20 デザイン
-----------------	---------

平成20年度配分 研究成果発表報告書(実績)

研究名	次世代デザイン学部のあるべき姿の考察				
配分を受けた特別研究費	特別研究費				2650 千円
研究者氏名 (代表者)	学部名	学科名	職	氏名	共同研究者
	デザイン学部	メディア造形学科	准教授	的場ひろし	他 4 名
発表の方法	1 紀要 名称:			号数	第 号 (頁~ 頁) (年 月発行)
	2 学会等での発表 学会等名:			発表日	平成 年 月 日
	3 その他 発表の方法: 第7回デザイン学部情報交換会にて、「次世代デザイン学部のあるべき姿の考察調査結果に関する報告(H20 年度学部長特別研究)」を発表			発表日	平成 21 年 12 月 17 日

学会等での発表及びその他の場合は、学会報等発表を証する資料を添付すること。

配分を受けた翌年度の3月末までに提出

20年度学部長特別研究

「次世代デザイン学部のあるべき姿の考察」の概要

研究目的:

本学をとりまく環境が大きく変革する中、デザイン学部のあり方を再検討する必要性が増している。デザイン学部を構成する諸要素に対して、現状及び将来にわたっての妥当性を検討し、より良いデザイン学部を実現するための改善、改革の提言を行うことを目的とする。

担当メンバー:

的場(取りまとめ)、山本、高山、和田、花澤

活動内容

- ・Cプロ成果の把握
- ・学科間の情報共有
- ・国内他大学等の訪問・調査
- ・海外大学の訪問・調査
- ・提言と今後の活動

学科間の情報共有活動

- ・工房の運営状況
- ・卒制内容(20年度卒業生)
- ・1年前期専門基礎教育内容
- ・ゼミ運営スタイル

国内他大学の訪問・調査

- ・国内の他大学を、本学との関連性や、訪問のしやすさ等から選択し、訪問・調査を行った

(第一次調査として約20校を訪問し、その中から本学との関連が最も深いと思われる2校についてさらに詳細な調査を実施)

- ・卒展訪問の際には、できる限り図録等も収集

札幌市立大学 デザイン学部 デザイン学科 細谷准教授、大淵講師【的】
はこだて未来大学 システム情報学部 情報アーキテクチャ学科 寺沢教授、岡本教授【的】
東北芸術工科大学 デザイン工学部 映像学科 松村准教授【的】
筑波大学 芸術専門学群 デザイン専攻 情報デザイン領域 内山講師【的】
文星芸術大学(学外卒業) 美術学部 デザイン専攻 巽教授 他【的】
文化女子大学 造形学部 生活造形学科 星野教授、伊藤准教授 他【的】
多摩美術大学 美術学部 情報デザイン学科 久保田教授【的】
電気通信大学 情報システム学 研究科 情報メディアシステム学専攻 小池教授 他【的】
女子美術大学(学外卒業) 大学院 デザイン専攻 メディアアート造形 為ヶ谷教授 他【的】
長岡造形大学 造形学部 視覚デザイン学科 ビューラ教授【的】
名古屋造形大学(学外卒業見学のみのみ)【和】【的】
名古屋市立大学 芸術工学部 デザイン情報領域 山口教授(学部長)【和】【的】
情報科学芸術大学院大学(IAMAS) 関口学長 他【和】【的】
大手前大学 総合文化学部 吉田教授【花】【的】
川崎医療福祉大学 医療福祉マネジメント学部 医療福祉デザイン学科 吉本教授【高】【的】
岡山県立大学 デザイン学部 造形デザイン学科 齋藤准教授 他【高】【的】
広島市立大学 芸術学部 デザイン工芸学科 笠原准教授 他【高】【的】
広島国際学院大学 情報デザイン学部 情報デザイン学科 高木教授 他【的】
九州大学 芸術工学部(東京サテライトOCにて) 森田教授(副学部長) 他【的】

札幌市立大学 デザイン学部 デザイン学科

ヒアリング相手: コンテンツデザイン系 細谷准教授、大淵講師

- ・高専等を母体として2006年に設立
- ・看護学部との2学部制、デザイン学部は1学科制、デザイン学科は4コース制
- ・学部定員: 80名、女子学生: 約7割、専任教員: 31名(教授15、准教授6、講師8)
- ・学科は以下の4つのコースで構成される。

- ①空間デザイン系
- ②製品デザイン系
- ③コンテンツデザイン系
- ④メディアデザイン系

- ・コースの構成は、本学の学科構成とよく似ており、本学のメディア造形学科が、コンテンツデザイン系とメディアデザイン系を合わせたような位置付けとなる。
- ・2年の後期開始時点でコース配属決定。基本的に学生の希望を通す
- ・本学の文化芸術総合演習、企画立案演習と類似科目あり

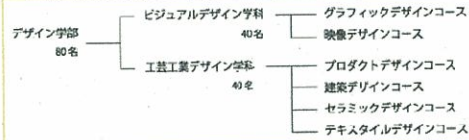
岡山県立大学 デザイン学部

ヒアリング相手: 造形デザイン学科 齋藤准教授

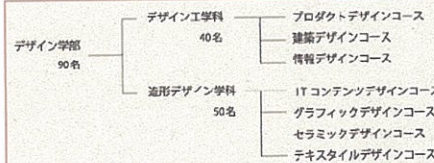
- 1993年(平成5年)開学。
- デザイン学部(定員90名)、情報工学部(140名)、保健福祉学部(140名)
- 学部教員数42名(教授15、准教授12、講師7)
- デザイン学部は2学科から成り、平成18年入学者より学科を再編成
- 基本的に専門科目の実習授業は、週一回に3,4,5,6時限の4コマ連続で行われる(いわゆる帯授業のスタイルではない)。
- 1年は学科内で共通の授業を受けるが、2年に進級する際にコース選択を行い、2年からコース別の専門教育が始まる。コース選択には基本的に学生の希望を受け入れる
- 転コース、転学科、転学部の仕組みが用意されており、少々の実績がある。(ただし、4年での卒業は実質的に難しい)
- 学科内に限るが、本指導の教員の他に、別なコースの教員からも副指導として指導を受けることができる。学科をまたぐ場合は、教員に個人交渉して指導を受けられる場合があるが、あくまで非公式な活動の位置付け。
- 学部連携型の科目は無い

岡山県立大学 デザイン学部

平成17年度入学者までの学科、コース構成



平成18年度入学者からの学科、コース構成



海外大学の訪問・調査

・アメリカ(9月)高山

Parsons The New School for Design
Design Otis College of Art & Design
Art Center College of Design

・イタリア(2,3月)花澤

ミラノ工科大学
ドムスアカデミー
ローマ大学

Parsons The New School for Design (New York)

昨年、学科の大幅な統合を行った。就職難による受験生確保が困難となったため。リーマンショック以来、ドットコム関係の就職も不振。

かつてあったクラフトなどの学科も同じ理由でなくなっている。アジア勢、特に韓国留学生の進出増。(30パーセント強) 作品審査によりファンデーション教育後の転科も可能。



Parsons The New School for Design (New York)

Department

- School of Art and Design History and Theory**
 Art and Design Studies
 Fashion Studies (MA)
 History of Decorative Arts and Design (MA)
- School of Art, Media, and Technology**
 Communication Design(BFA)
 Design and Technology(BFA)
 Design and Technology(MFA)
 Fine Arts (BFA)
 Fine Arts (MFA)
 Graphic Design (AAS)
 Illustration (BFA)
 Photography (BFA)
 Photography (MFA)
- School of Constructed Environments**
 Architectural Design (BFA)
 Architecture (MArch)
 Interior Design (BFA)
 Interior Design (AAS)
 Interior Design (MFA)
 Lighting Design (MFA)
 Product Design (BFA)

- School of Design Strategies: cities, services, ecosystems**
 Design & Management (BBA)
 Environmental Studies (BS)
 Integrated Design (BFA)
 Foundation

- School of Fashion**
 Fashion Design (BFA)
 Fashion Marketing (AAS)
 Fashion Design (AAS)
 Fashion Design and Society (MFA)



Design Otis College of Art & Design (Los Angeles)

ロサンゼルス、ハリウッド近郊。グラフィック系の老舗大学。CGアニメーションなどのスタジオへのインターンシップを行っている。しかし、近年、インドへのアウトソーシングが増加の一途を辿っていることから、この分野も厳しい状況が想像できる。アメリカ国内では、ファッションやトイデザインでよく知られる。2年のファンデーション教育の後、各専攻を選択する。



Design Otis College of Art & Design (Los Angeles)

Department

- Interactive Product Design
- Painting
- Photography
- Sculpture/New Genres
- Toy Design
- Advertising Design
- Architecture/Landscape/Interiors
- Digital Media
- Fashion Design
- Graphic Design
- Illustration

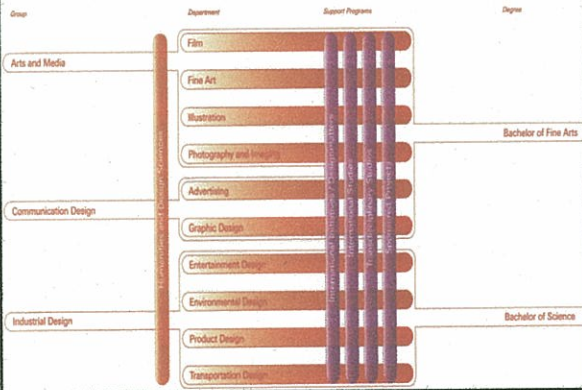


Art Center College of Design (Los Angeles)

世界Dスクールのトップ校。高額な学費で知られ、アジア（特に韓国・中国）からの留学生も多い。しかし、世界同時不況のためトランスポーテーションが有名であったこの大学の学生も現在は就職難。学費ローンの返済のために学業とはまったく別の職業を選ぶものも多い。高額な学費と入学時の厳しいポートフォリオ審査で適正を確認しているためか、転科を希望する学生はいない。



Art Center College of Design



ミラノ工科大学

イタリア屈指の工業都市ミラノに立地。もともとは建築学部があり、そこからデザイン学部が派生。多くの建築家、デザイナーを輩出。

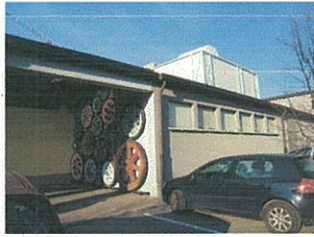


ミラノ工科大学

以前は企業の使用していた建物を改装して使用



ミラノ工科大学 大学グッズショップ



ミラノ工科大学
以前は鉄道関係の工場だった建物



ミラノ工科大学
建物内部の展示



ドムスアカデミー

大学院だが、工業デザイン、インテリアデザイン、建築デザイン等のコースがあり、本学と類似性あり。建物は思いのほか地味。



ドムスアカデミー

向かって右が各コースの事務室。建築関係のコースでも企業へのプレゼンテーションのためフラッシュは必須。

提言と今後の活動

「学科のあり方に柔軟性を持たせる
検討を始めることに意義があると思われる」

- 転学科の制度化
- 他学科専門科目履修やゼミ所属の弾力化
- 同一学科入学後のコース選択制

今後の活動

- ・ 特別研究としては20年度単年度
- ・ 今年度は、インタフェース、CAD教育、学習環境等に特化した各特別研究の中で、学部学科のあり方を含めた教育体制についてさらに検討を進める